古石ひでさと4期目に向かっての議会活動　ひでさと

古　石

後援会だより

URL：http://古石.com/

第　３８８９号
発行令和３年１０月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２５－２２２６

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

衆議院選挙　第１０区での動き

衆院選19日公示、31日投開票

渡辺氏の上位処遇に期待

比例代表道ブロック 岸田新総裁の誕生で

衆院選は19日公示、31日投開票と決まった。当面の注目は、道10区（空知、留萌管内）を地盤とする自民党の渡辺孝一衆院議員（63）＝比例代表道ブロック＝の同党比例名簿における処遇。地元では「4度目の今回も上位」との期待が高まっている。渡辺氏が所属する岸田派会長の岸田文雄氏が、同党の新総裁に選出されたため。名簿の届け出は公選法の規定で公示日だが、それまでの渡辺氏の動きが順位を左右するとの見方もある。【末永直樹】

「渡辺さんは『持ってる』（運が強い）」。岩見沢市内の50代の自民党関係者は話す。総裁選で当初は「不利」とされた岸田氏が当選したため。同市内の60代の同党関係者は「自派閥だけに逆に渡辺氏の上位処遇は困難との声も一部にある」と指摘。「稲津氏当選に汗をかけば、渡辺さんはきっと光る」と述べた。

一方、公明党も渡辺氏の上位処遇を期待。山口那津男代表は2日、岩見沢市内で記者団の質問に答え、渡辺氏の比例処遇について「（与党が）協力して最大限の力が出し合えるよう検討してほしい」と述べた。公明党が戦いやすい環境づくりを求めたもので、「渡辺氏の上位処遇への期待の表れ」（自民党関係者）との見方がもっぱらだ。

稲津氏（右）の横で演説する公明党の山口代表

公明山口代表が来道

岩見沢、滝川で街頭演説「稲津氏の勝利」訴え

【岩見沢、滝川】公明党の山口那津男代表が2日、岩見沢、滝川両市内で街頭演説し、次期衆院選で道10区（空知、留萌管内）から出馬を予定する同党現職の稲津久氏について「何としても勝たせてほしい」と訴えた。

岩見沢での街頭演説はイベントホールが入れかわって行われ、支持者約900人が集まった。山口代表は「小さな命をしっかり守り、政策を実現するのが公明党の持ち味」として自民、公明両党の連立の重要性も強調した。

稲津氏は、新型コロナウイルスワクチン確保の実績を挙げるとともに、農業支援に取り組む考えを示し「与党の力を最大限に発揮し、政治の流れをさらに進めるため全力をあげる」と支持を呼びかけた。

岩見沢、滝川での街頭演説には自民党の高橋はるみ参院議員、日本維新の会の鈴木宗男参院議員が駆け付け、滝川の演説には自民党の渡辺孝一氏も駆け付けた。【末永直樹】

岩見沢で会見する渡辺氏＝２日

当の本人である渡辺氏は2日、同市内の事務所で総裁選後初めて会見し、岸田新総裁について「総裁選を通じて国民に訴えてきたことを実現してほしい。私たちもしっかりサポ

浸水予測区域 1.8倍に拡大

岩見沢市がハザードマップ改訂

対象河川41に　避難方法も紹介

【岩見沢】市は河川氾濫時の浸水予測を図示した「洪水ハザードマップ」を改訂し、市ホームページ（HP）などで公開した。対象河川を従来の13から41に広げ、浸水予測区域も1・8倍に広がった。今後は住民が利用しやすい地域別のハザードマップの作成を進める予定。（浦崎竜馬）

市は2009年、石狩川や幾春別川、幌向川など主要5河川が100～150年に1度の大雨に見舞われた場合を想定した洪水ハザードマップを作成した。12年9月の南利根別川の氾濫を踏まえ、13年には同川や旧美唄川など国が作成を義務づけていない8河川につ

市が改訂した洪水ハザードマップ

いても、50年に1度の大雨を想定した同マップをまとめた。

その後、15年の水防法改正で想定降水量の基準が「千年に1度」に変更となって見直しに着手。大河川の対象は、市外を流れるが浸水区域が市内に及ぶ須部都川と美唄川などを加えて10河川となり、浸水予測区域も160平方㌔から211平方㌔に拡大した。中小河川も31河川を対象として浸水予測区域を見直し、4・6倍の120平方㌔に広がった。

改訂に合わせ、緊急時の避難方法や、ペットと避難する際の注意点などもイラストを交えて紹介している。対象の河川や区域が大きく広がったため、市は町会と調整して地域別の同マップを作成する考え。松野哲市長は「町会や自治体単位でのより分かりやすいハザードマップとし、HPや防災教室などで知らせるようにしたい」と話している。

個性的な帽子 神秘的な写真

自然テーマ 長沼で2人展

【長沼】町内在住のフェルト帽子作家吉川ナミさんと写真家の昆田双樹（ふたつき）さんの2人展「コロポックルの住むところ」が、町内幌内のポロナイクリニック隣の小ホール「ポエティカ」で開かれている。

自然をモチーフに創作する2人の展覧会は6年ぶりで2日から始まった。吉川さんは「設計図無しで、陶芸のように手で触りながら形を決める」といい、ユニークなデザインの帽子が並ぶ。羊毛の中に古布を取り込む作品が印象的。

昆田さんの写真は、黒色の背景に一つの花や葉を置いて神秘的な生命力やはかなさを浮き上がらせている。

入場無料。午前11時～午後4時。10日まで。問い合わせは吉川さん☎090・6217・8181へ。（土屋孝浩）

帽子と写真をのんびり鑑賞できる2人展の会場

来年4月からの「万字線」乗合タクシー

日の出交通が運行

【岩見沢】市の地域公共交通活性化協議会は、市内毛陽や万字地域のバス路線「万字線」で、来春から運行する「定時路線型乗合タクシー」について、運行業者を日の出交通＝市内大和2＝に決定した。

乗合タクシーに切り替えるバス路線は、平日の往路7便・復路8便、土日・祝日の往復6便。来年4月からバスを乗合タクシーに切り替え、現行路線で定期運行する。

運行事業者は、公募型プロポーザル方式で選定。市内のタクシー会社2社から企画提案があり、先月30日に書面方式で審査、小差で日の出交通に決定した。

今後はバス路線廃止と乗合タクシー運行をスムーズに切り替えるための実施計画を作成するなど、選定した事業者と具体的な協議を進める。【新田一寛】

昨年も贈呈した敬老品を用意し、70歳以上の高齢者に届けた。

北2条町会では9月の祝日に合わせて対象者に配布。北3条町会ではこの日、子ども会で中止した神輿行事の代替を兼ねて実施。子どもたち8人が参加